

★掲載の情報は市のホームページ(アドレスは表紙参照)でもご覧になれます ★申し込みはがき「基本事項」の記入方法は11ページを参照 ★時間は24時間表記

給食施設の届け出について

特定かつ多数の人に対して継続的(週4日以上が1カ月以上)に食事を供給する施設(病院や事業所など)のうち、一定の給食数(1回50食か1日100食以上)を提供する施設は、給食を開始した日から1カ月以内に届け出が必要です。継続的に食事を供給することを目的として弁当業者などと契約している場合も含まれます。詳細は図を。様式は市のホームページ(アドレスは表紙参照)からダウンロードできます。保健福祉局健康推進課☎582・2018へ。

大規模小売店舗立地法に係る届出書の縦覧

縦覧はサンリブ高須(若松区高須南二丁目)の変更。4月25日(月)まで(土・日曜日、祝日は除く)の8時30分～17時、産業経済局商業・サービス産業政策課(市役所7階、☎582・2050)と若松区役所総務企画課で。縦覧期間中に産業経済局商業・サービス産業政策課へ意見書の提出ができます。

公共事業の評価結果等に関する意見を募集

新門司工場の大規模改修工事についての公共事業評価。▶評価結果などの配布・閲覧=2月17日(木)～3月18日(金)(土・日曜日、祝日は除く)の9～17時、環境局施設課(市役所10階)、広報室広聴課(市役所1階)、各区役所総務企画課・出張所で。市のホームページ(アドレスは表紙参照)でもご覧になれます ▶意見の提出=様式自由。住所、氏名、意見を書いて配布・閲覧期間中にEメール(市のホームページから)、郵便、ファクスで〒803-8501環境局施設課(☎582・2184、☎582・2196)へ。各配布・閲覧場所に直接提出もできます。

乳がん(マンモグラフィ)無料検診

3月6日(日)10～14時、サニーサイドモール小倉1階(小倉南区下曾根新町)で。令和2年4月以降に乳がん検診を受診しておらず、職場などでも検診を受ける機会がない40歳以上の女性。定先着50人。☎2月18日8時30分から九州健康総合センター☎672・6210へ。担保健福祉局健康推進課☎582・2018。

お茶なし認知症カフェで語ろう

参加者同士の交流や、認知症についてのミニ講話など。3月10日(木)・24日(木)の13時30分～15時30分、総合保健福祉センター6階(小倉北区馬借一丁目)で。対認知症の人と家族や認知症が心配な人など。定先着各日8人。☎2月17日から認知症支援・介護予防センター☎522・8765へ。

固定資産税(第4期)の納期は2月17～28日です。

2月21～27日は皇后崎工場(八幡西区夕原町、☎642・6731)の可燃粗大ごみの受け入れを休止します。

2月24日・25日は松本清張記念館(小倉北区内、☎582・2761)を休館します。

国民健康保険料(第9期)の納期限は2月28日です。

介護保険料(第9期)の納期限は2月28日です。

情報ステーションは**11**ページから始まります

施設の催し

子どもの館

☎642・5555

〒806-0021八幡西区黒崎三丁目15-3、コムシティ7階 開10～19時 休2月16日、3月2・16日

①赤ちゃんとママのふれあい体操 母親の産後のケアや赤ちゃんのリンパマッサージ。3月10日(木)13時30分～14時30分。対首が据わった生後3～12カ月の乳児と保護者。

②親子リズム体操 3月15日(火)13時30分～14時30分。対1歳児と保護者。



③たのしい親子体操 ダンスや遊具を使った運動など。3月18日(金)13時30分～14時30分。対2歳以上の未就学児と保護者。

共通定先着各15組。☎電話で②は2月22日、①は24日、③は25日から同施設へ。

こども文化会館

☎592・4152

〒803-0846小倉北区下津四丁目3-2 開9～17時 休月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)

こどもシアター アニメ「ひなまつり」など。3月6日(日)。

ファミリー人形劇場 3月13日(日)。共通14～15時。対未就学児は保護者同伴。定先着各40人。☎電話で2月17日から同施設へ。

不登校について考えましょう

担教育委員会生徒指導・教育相談課☎582・2369

不登校は「問題行動」ではありません

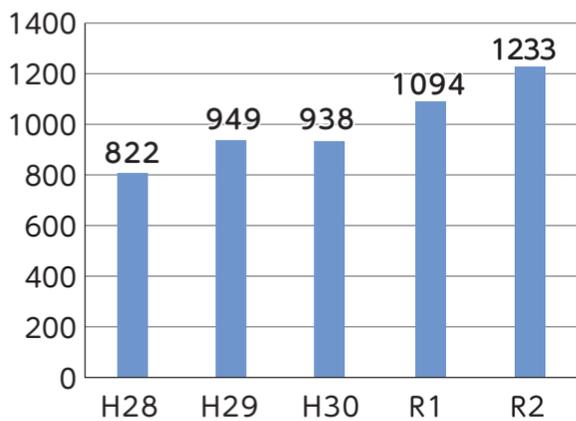
不登校は、その要因・背景に、学校、家庭、社会のさまざまな問題が複雑に絡みあっています。また、特定の子どもに起こるのではなく、どの子どもにも起こる可能性があります。

不登校を積極的に選ぶ子どもはいません。「学校に行きたいのに何らかの理由で行けない」という不本意な気持ちから始まります。また、その理由を本人がよく分からないこともあります。決して問題行動ではありません。

本市の不登校児童生徒数は増加傾向です

全国同様、本市も平成28年度から5年間は増加傾向にあります。令和2年度は1200人を超え、深刻な状況です。

■年間30日以上、学校を欠席した
不登校児童生徒数の5年間の推移(人)



「どこ(学校)で学ぶか」ではなく「何をどのように学ぶか」が大事

学校を休んで、学びを学校以外で行っても問題ありません。大切なことは、将来、子どもが幸せな生活を送れるよう「社会的に自立すること」です。

少年支援室やフリースクール、自宅でICT(情報通信技術)などを活用して学習を行った場合も、一定の要件を満たせば出席したことになります。

子どもの様子がいつもと違うと感じたら

- 「頭が痛い」「だるい」など体の不調は悩みを抱えているからかもしれません。話すだけで心が軽くなることもあります。
- 少しの時間でも、毎日子どもの目を見て話を聞きましょう。
- 結果ではなく、頑張る姿勢や今できていることを褒めましょう。

保護者も一人で悩まず、相談してください

まずは、学校に悩みを打ち明けてみませんか。学校には「スクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」など、専門の知識を持った人もいます。

そのほかの相談窓口は市ホームページ(右記を読み取り)でもご覧になれます。



▲市ホームページ「不登校の子どものための総合案内」

相談窓口

- 子ども総合センター☎881・4556
- 24時間子ども相談ホットライン☎881・4152
- 24時間子どもSOSダイヤル(全国)☎0120・0・78310

関門連携コーナー



海峡の友

下関市と北九州市では、市政だよりでお互いの情報を交換し掲載しています。

野村佐紀子 写真展「海」

下関市出身の写真家・野村佐紀子さんの写真作品を最新作も含めて約150点展示します。2月11日(祝)～3月27日(日)(3月21日以外の月曜日は休館)の9時30分～17時(入館は16時30分まで)、下関市立美術館で。料一般1200円、大学生960円。18歳以下は無料(身分証明書などの提示が必要)。☎同施設(下関市長府黒門東町、☎(083)245・4131)へ。